

フィッシングメールに注意!

流出したメールアドレスに対する偽メールによって
更なる情報流出や金銭的被害に繋がるおそれがあります!

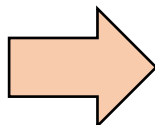
■ フィッシングの例

●●アカウントより重要なお知らせ

●●公式メール <info@●●.example>
宛先: npa.taro@example.ne.jp

商品お届けのため、
お支払方法をご確認ください。

<https://malicious-phishing.example/>



クリックすると

<https://malicious-phishing.example/>

お支払方法を入力

クレジットカード名義人

カード番号

偽サイトで情報を窃取されます!

送信アドレスを偽装する場合も

■ サービス利用者の皆様へ

～被害に遭わないために～

- メール内のリンクを**安易にクリックしない**
- ID・パスワードの**使い回しをしない**
- **パスキーその他多要素認証**を活用する

より詳しい対策は ⇒ 警察庁「フィッシング対策」

<https://www.npa.go.jp/bureau/cyber/countermeasures/phishing.html>



■ サービス提供事業者の皆様へ

～利用者を守るために～

- 送信ドメイン認証技術 (**DMARC**) を導入し、「**受信拒否**」に設定する
- **パスキーその他多要素認証**を導入する

DMARCの詳細は ⇒

サイバー警察局便り『あなたの会社のメール、「誰でも名乗れる状態」になっていませんか?』

https://www.npa.go.jp/bureau/cyber/pdf/R8_Vol.11cpal.pdf

パスキーの詳細は ⇒

サイバー警察局便り『パスワードだけの認証はもう限界です。』

https://www.npa.go.jp/bureau/cyber/pdf/R8_Vol.12cpal.pdf



■ 警察の取組

～サイバー空間における安全・安心の確保のために～

警察では、民間事業者と連携して、フィッシング対策を推進しています!

警察庁「マイクロソフト・JC3と連携した犯罪インフラのテイクダウンについて」

<https://www.npa.go.jp/bureau/cyber/koho/news/20261015.html>



長野県警察公式ホームページの「サイバーセキュリティ対策」には、サイバー事案等の手口や被害に遭わないための情報が掲載されています。是非ご覧ください。